



大明小学校

校長室から

令和5年2月24日

No. 11

文責 校長 三井 保

豊かな未来社会を創る確かな学力を！！

昨年度、同じタイミングで前任の穴山校長先生が次のような内容でお便りを出していました。

今の時代は、社会の変化が激しく先行きが不透明で予測困難（VUCA・ブーカと読むようです。）であると言われています。このVUCAの時代は、今だけでしょうか。私は、今の社会環境とは全く異なるものの「予測困難」の視点から見ると、およそ150年前の江戸から明治に時代が変わる激動する世が、似ている状況ではないかと考えます。では、当時の人々はどのような思いで生きていたのでしょうか。政治が変わり、経済や戦争への不安から「不安定、不確実、複雑、あいまい」が多くの人の心に増す中で、新しいことを自らの力で創り出すことへの「希望」をもつ人もいたことと思います。ところで、令和2年に告示された学習指導要領は、今の子どもたちが2030年代に「前向きで、責任ある行動をとることのできる、積極的に社会参画することができる」市民となっていくために必要な力の育成について示しています。

今、私たちの目の前で学んでいる子どもたち一人一人が2030年以降の世の中を創っていく存在となるのです。私たち教職員にも大きな責任と使命が課せられているのですが、御家庭の協力なくしてはなしえないこともたくさんあります。学校と家庭そして地域の連携を今まで以上に強めていくための御協力を心よりお願いいたします。不確実な未来を切り拓いていくために子どもたちには様々な力が必要となります。その力の根底となる知識や技能の獲得はとても重要なこととなります。本校でも家庭学習強化週間と銘打って、1台パソコンの持ち帰りをを行い、「ミライシード」という学習用AIソフトを用いた家庭学習を実施しています。このソフトでは、一人一人の子どもがどのくらい学習を進めているか、そしてどの部分に弱点があるかをAIが判断して個に応じた課題を提示し学習を進められるようになっています。そして、それがスタディーログとして残り、各担当が個に応じた支援に役立てられる仕組みとなっています。今後より一層1台パソコンの持ち帰りを進めていきますので、各御家庭で学習の様子を見守ってください。私も算数のお手伝いはできますので、算数で困った時にはいつでも校長室を訪ねるようお子さんにお伝えください。

小中一貫校が始まります

南アルプス市では中学校区ごとの小中一貫校づくりが進んでいて既に八田地区、白根地区、若草地区で小中一貫校がスタートしています。甲西地区においても昨年度より準備を進め、本年度は来年度のスタートに向け具体的な準備を進めてきました。小中一貫校の目的は大きく言うと「甲西地区の子どもたちを小中9年間通して切れ目なく支援し、学校と地域が連携しながら成長させていく。」ということになります。

本年度、小中9年間の教育課程を教科領域によっては各地区の特色を採り入れながら設定することができ、小中また小学校同士の交流、学習指導そして個々の子どもの状況に応じた支援の在り方について見通しを立てることができています。4月よりこの取り組みが本格的に実施されます。小中ギャップをなくし小学校を卒業した子どもたちが安心して義務教育後期の中学校生活でより高い力をつけられるよう努力していきたいと思えます。甲西地区小中一貫校の目指す子ども像は「ふるさと、人、学びを大切にする甲西の子」それを実現するための教育目標は「甲西地区に学び、ふるさとを愛し、自ら未来を拓く、たくましい児童・生徒の育成」です。4月より名称が「南アルプス市立小中一貫校大明小学校」となります。今後も温かい御支援と御協力をよろしくお願いいたします。

**4年1組 深R 空さんのお宅から児童用机・椅子脚の保護用テニスボールをたくさんいただきました。
ありがとうございました。有効活用させていただきます。**